

大乳商通信

(第10号)

発行所 大阪府牛乳商業組合
大阪市西区北堀江 3-6-28
Tel 06-6538-3061 Fax 06-6538-3067
発行者 理事長 小松 治

発行日
平成29年6月3日

総会報告

第4回 通常総会 開催

5月19日 第4回通常総会を開催しました。
組合員数134名のところ、出席者68名(本人出席19名+委任状出席49名)で総会成立。
箕田成乃亮氏の司会で、開会を宣言。小松治理事長が挨拶に立った。
議長に小松治氏を指名し議事次第通り審議を開始。

- 第1～2号議案 平成28年度事業報告、決算報告、剰余金処分案の件、監査報告の件
- 第3～4号議案 平成29年度事業計画(案)、収支予算(案)の件
- 第5号議案 借入金最高限度額の件
- 第6～7号議案 組織並びに役員選出規定、利益処分説明及び配当金預り勘定の設置の件
- 第1～7号 全議案、承認を得て可決。(別紙文書参照)

総会終了後、大阪府中小企業団体中央会 顧問税理士の坂本幹雄先生を迎え、「税制改正と補助金について知って役立つ、知って得する」講演を行っていただきました。特に私たちが利用可能な補助金について、質疑応答がありました。
懇親会に入り、ご来賓として、大阪府中小企業団体中央会 足立一平様、講演をいただいた坂本幹雄先生、株式会社酪農乳業速報 椿原義明部長様の御参席をいただきました。足立一平様の来賓ご挨拶に続き、神吉副理事長の乾杯発声により和やかに歓談の運びとなり、散会いたしました。



活動報告

三役会

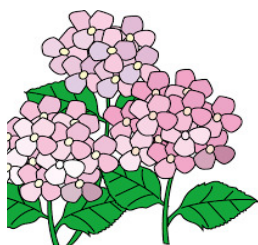
- 3月7日 (出席者 7名)
○理事会について
・第4回通常総会議案書(案) 審議
・組織並びに役員選出規定(案) 審議
○総会について
5月19日(金) ホテルベイタワールにて開催
総会4時～ 懇親会5時～ を決定。

- 3月10日 (出席者 役員4名 奈良県牛乳商業組合理事長ほか2名)
○近畿の牛乳組合の運営について
○IT導入支援事業について
4月7日 (出席者 役員7名)
○理事会について議題確認
○総会について
・来賓案内について

- 5月9日 (出席者 役員7名)
○総会について
・総会 午後3時～
研修会(講演会) 午後4時～(総会進捗状況により開始時刻変動)
懇親会 午後5時～
・議事進行確認

理事会

- 4月19日 (出席者 23名 内委任状による代理出席9名)
○第4回通常総会提出議案書(案) 審議
総会に上程な賛否に全員異議なく賛成可決。
○配当について審議し、承認可決する。



「牛乳組合からのお祝い」

大阪府食品国民健康保険料は

毎月25日迄に!

尿酸値を下げる秘策は1日1杯の牛乳

1月5日付Jミルクのフェイスブック（FB）に興味深い投稿がありましたのでご紹介します。テレビ、新聞でも報道されましたのでご存知の方も多いと思いますが、「牛乳が尿酸値を下げる」という内容です。

【知ってる？】ガッテン！尿酸値を下げる秘策は1日1杯の牛乳
1月4日に放映されたNHK「ガッテン！」ご覧になりましたか？
「お正月、豪華に食べちゃった皆さんに朗報！尿酸値をスッと下げる方法とは...1日1杯の牛乳です!!」という内容でした。

一般的に尿酸値を高くしているのは「プリン体」を多く含む食品（レバーなど）と思われがちですが、実は食べ物は尿酸を作り出す原因の2割にすぎません。8割は体の細胞から新陳代謝などで作り出されるもので、それがきちんと排せつされないと高尿酸になってしまいます。

その排せつを悪くする主な原因は「肥満」と「体質」ですが一方で「尿酸の排せつ」を増やして高尿酸を防ぐ効果が確かめられている食品として「牛乳」が紹介されました。飲む量は1日コップ1杯で十分で、ヨーグルトなどの乳製品などでもOK。低脂肪だにより効果的だそうです。

番組では実際に尿酸値の高いイケメンモデルが実験に参加し、1週間の牛乳とヨーグルトの摂取で尿酸値が劇的に改善されたケースが紹介されました。

■NHK「ガッテン！GATTEN」「プリン体じゃなかった！尿酸値を下げる秘策SP」

<http://www9.nhk.or.jp/gatten/articles/20170104/index.html>

（「全乳連便り」第43号より引用）

認知症増加の対策に牛乳・乳製品・Jミルク

Jミルクはこのほど、牛乳・乳製品の認知症対策効果等改善をまとめた冊子「認知症とその予防・生活習慣・食生活の改善へ向けて」を作成した。認知症は、団塊世代が後期高齢者になる25年には訳675万人に増加するとされ、「2025年問題」として話題になっている。同冊子では認知症の対策として牛乳・乳製品の可能性を示した。東京大学医学部附属病院老年病科の小川純人准教授、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学センターNILS-LSA活用研究室大塚礼室長の研究を掲載している。

小川准教授は、認知症リスクが生活習慣病やフレイル（高齢による虚弱・衰弱）によって高まるとして、生活習慣病の原因となる低栄養対策を万全にする必要性を指摘。牛乳は血糖値の上昇を抑え、手軽にたんぱく質を摂ることができ低栄養対策のもなり、認知症リスクにも有効だ。食事の内容と認知症の関係を60～80歳の男女1000人以上で調査した「久山町研究」でも、牛乳・乳製品を多く摂るほどリスクが下がる傾向が示されている。小川准教授は「認知症予防効果の可能性があるカルシウム・マグネシウムが豊富で、アルツハイマー病の危険因子の血漿ホモステイン濃度を低下させる」として、認知症対策としての牛乳摂取を推奨している。

大塚室長は、牛乳・乳製品に豊富な短鎖脂肪酸・中鎖脂肪酸と認知症の関係を、国立長寿医療研究センターの研究データから分析。乳製品摂取量が1日128g増えるごとに、認知機能低下リスクが約20%低下しており、短鎖脂肪酸は231.9mgで約16%低下する結果となっている。また、短鎖脂肪酸の中でも酪酸は180.5mgで約15%、中鎖脂肪酸のオクタン酸は81.3mgで約16%低下する。大塚室長は「酪酸180mgは牛乳コップ1杯にも満たない150gに含まれる分量。オクタン酸の81mgは有塩バター9gに含まれる量に相当する。少しの量でも認知機能低下の抑制に効果が期待できる」と牛乳・乳製品の有効性を強調した。

（日刊 酪農乳業速報 2017.3.15 日号より引用）

【編集後記】

総会出席の皆様、ご審議有難うございました。
6月1日は「世界牛乳の日」です！牛乳で乾杯！
大乳商通信の充実を図る為、皆さんのご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。
ソフトな記事もおまわっています！



広報部長 津村 調和

|| 訃報 ||

布施支部 藤本 健一氏 御母堂 『時子』様
平成二十九年二月二十七日に 逝去されました。
住吉支部 『水野 正博』様
平成二十九年三月八日に 逝去されました。
謹んで 冥福をお祈り申し上げます

実施された配当金の取扱と配当預り金勘定の設置について

今回の総会において採決戴きました配当金は10%（一口5,000円に対し500円）です。

この配当金は、組合資金の充実を図る為に配当預り勘定を作成し、ここに税引き後の配当金を預らせていただきます。この預り金に対する利息は0%ですが、預り金が5,000円を超えるものについては、本人の申込みがあった事とし、一口の増し口（但し、新証券は発行しない）を認め端数の金額は積み立てるものとする。

尚、積立金は、退会時には出資額と同様に返却いたします。

配当金計算書

				口数別
口数（口）	出資額（円）	配当金額（円）	源泉・復興税	税引後（円）
1	5,000	500	102	398
5	25,000	2,500	510	1,990
10	50,000	5,000	1,021	3,979
13	65,000	6,500	1,327	5,173